

# ハレハレ本舗



業務内容 手漉き和紙及び加工品製作

黒潮町にて楮を無農薬栽培し、昔ながらの手作業による和紙作りを行っています。  
薬品を使わず、井戸水で漉き、天日板干しにて完成させます。  
加工品に使う、竹や板も近隣の素材を使い塗料なども天然のものを使用しています。

履歴

代表 中嶋久実子

- 1982年 多摩美術大学絵画学科卒業  
以降模型製作やステンドグラス制作の仕事に携わりながら、絵画作品の展覧会出品。  
体調を崩し、田舎暮らしを模索し始める。
- 1992年 土佐市の紙漉の池田氏に弟子入り。
- 1993年 旧佐賀町の塩作りに参加  
以後、夏塩作り、冬和紙制作
- 2002年 独立。和紙制作に専念。  
木工、竹細工、畑の草刈りなどの仕事として本宮裕邦が参加。  
紙漉に興味がある若い人を受け入れながら、現在2人で制作、業務全般をこなしている。

主な製品内容

楮、雁皮、などの高知県幡多地域で自家栽培や山で採取して薬品を使わず昔ながらの手打ち打開、天日板干しによる紙漉がメイン。  
また、バイオマス植物資源として注目されるヘンプ（麻）の紙。  
農業廃棄物として出る、稲、さとうきび、おくら、竹などの素材を利用した紙。

上記をベースにした小物や照明器具、オーダーによる壁紙など。  
通販などの商品。  
イベントにおける、和紙による灯りの作品。

その他の活動

- 2007年4月 高知城「花回廊」にて特注行灯200個制作。  
2007年7月 高知市鏡川まつりにて直径7メートル高さ4メートルの竹ドーム行灯制作、展示。  
通年を通しての野外イベントでの出展。  
グループ展開催。（高知、岡山。東京）

- 子供達の手漉き体験教室を開く。  
2006年 黒潮町ヘンゼの森の子供達の手漉き体験。  
2007年 佐賀小学校にて手漉き体験

今後の活動予定

- 2008年4月 高知城「花回廊」行灯制作。  
5月 岡山クラフトフェア出品。  
7月～9月 東京・新宿「オゾン」にてヘンプフェア出品

2008年

旧佐賀町の優良品種の楮の復活やさとうきびによる地域興しにつながる紙漉を始めたい。